

3. 20志位委員長 近畿オンライン演説会ニュース ①

3月20日(祝・土 14:00~)の近畿オンライン演説会成功へニュースを発行します。「近畿は一つ」で初の取り組み。成功には経験交流が大切です。府県・地区・支部の取り組み、ニュースを送ってください。

成功へ これがポイント

- オンラインで見ることの意義をつかむことが何より重要 府県・地区機関、支部がよく議論して腹に落とそう 情勢大激動。3月20日は絶好のタイミング。「後からDVDで見ればいい」でなく、志位委員長の最新の論戦、比例候補の決意をオンラインで見て聞き、その場から足を踏み出そう。
- 総選挙勝利の一大決起の場。全支部が取り組み、無数の視聴会場を ネット環境を整えば多くの人が見ることができます。数人の視聴会場を無数に。「ネット環境がない」は憶測。視聴条件は広がっています。全支部がつながりを生かして見る環境を見つけ、確保し近畿で5000カ所、3万人の大視聴運動を。府県・地区委員会は支部を援助しよう。
- 支部主役で広く案内・宣伝を 広げるカギは「支部が主役」で支持者・知人にどれだけ案内できるかです。同時にSNSを使って大規模に案内を
- SNSに取り組みなければ選挙は勝てない オンライン演説会は新しい活動方法。選挙勝利へやってもやらなくてもいい課題ではありません。総選挙に向け今回の取り組みを通じて全支部が挑戦を



成功へ知恵だし会議 2府4県の担当者

近畿2府4県の担当者が参加して5日、党大阪府委員会事務所で「オンライン演説会成功知恵だし会議」が行われました(滋賀・奈良・和歌山はリモート)。中央委員会の田村一志宣伝局長が参加し助言しました。

林信一郎・近畿ブロック事務所長が報告。4つの意義—①総選挙への総決起の場②支部・後援会が主役に徹する③特別期間の諸課題の結節点に④選挙勝利の必須の課題としてSNSに取り組みむ—を明らかにし、「全支部が視聴環境を確保することに全力をあげよう」と訴えました。田村氏は「オンライン演説会は大阪が皮切り。始まりはコロナでやむを得ずだったが、選挙勝利への戦略的な取り組みとして位置付ける。全支部参加にチャレンジを」と述べました。

討論では「5000カ所、1万人が目標。府委員会に推進チームをつくり、地区計画を13日までに求めている。視聴個所を増やすことに執着する」(京都)

「組織活動であることを腹に落とす。支部がどこで見るかを3月初めには決め、案内に取り組みむ必要がある」(大阪)「志位さんと和歌山に来たのは書記局長になったとき。今回はお茶の間、職場にやってくる。電気が通っているところなら見られる。支部の視野に入っていない人にも参加を」(和歌山)など積極的発言が相次ぎました。「コロナで開店休業になっている飲食店を会場に貸してもらっては」など多くの提案がありました。

演説会のピラの活用を裏面は演説会の視聴の仕方が載っています。9日に地区委員会着。日刊紙、日曜版折り込み、案内に大活用して下さい

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 4(2021.2.7)